

公立高校入試情報 沖縄県

【数学】

令和7年度沖縄県入試の全体傾向

- 大問は昨年より 1 問減って10問、小問数は昨年と同じで40問。
- 大問 1 ・ 2 は基本計算中心の小問集合、大問 3 は箱ひげ図、大問 4 は確率、大問 5 は 1 次関数の利用、大問 6 は作図、大問 7 は関数(会話文)、大問 8 は相似の証明と円、大問 9 は三平方の定理と空間図形、大問10は規則性(数)の問題であった。
- 毎年、全領域から基本的な問題が出題されており、問題数が多い。式による説明、図形の証明(全文記述式)は、昨年と同様、出題された。作図、関数と図形の融合、規則性の問題もよく出題されている。

■ 関数の利用の問題の出題

・関数で表される関係について、グラフを使って考えたり、関数の式を利用して解く問題がよく出題されている。

■ きまりをもとに考える問題の出題

・確率や規則性の問題で、きまりをもとに考える問題がよく出題されている。問題文をしっかりと読みこなし、そのきまりに従って解く力をつけておく必要がある。

★沖縄県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●			
		方程式	●	●	●	●
		比例と反比例	●	●		
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●	●	●
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式	●	●	●	●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方		●	●	●
		三角形	●			
		平行四辺形	●	●		●
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図		●	●	●
	3年内容	式の計算	●	●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●	●	●
		三平方の定理		●	●	●
		標本調査			●	●
出題形式別の傾向	大問数		10	11	11	10
	小問数		42	41	40	40
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など		1	1	2
		立式・解法の過程の記述				
		作図(図形)	1	1	1	1
	作図(グラフ)					